

第204回 河川文化を語る会

参加
無料

未来のために知っておきたい、海とプラスチックの話 —保津川から取り組む海ごみの発生抑制策—

講師 原田禎夫 氏

大阪商業大学公共学部 准教授
NPO法人プロジェクト保津川 代表理事

講師からひと言

急速に深刻化する海のプラスチック汚染。しかし、ごみの大半は私たちの住む町から川を通じて流れ出しています。保津川下りや嵯峨野トロッコ列車で知られる京都・保津川では、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発表し、全国初のレジ袋禁止条例を制定するなど、内陸部から海ごみを減らす取り組みを進めています。なぜ、海のない町から海ごみ削減に向けた取り組みが始まったのでしょうか、また世界ではどんな取り組みが進んでいるのでしょうか？
みなさんと一緒に「私たちにできること」を考えたいと思います。

日 時

2022年3月19日(土)

14:30～16:30 (会場受付開始14時)



【講師プロフィール】

1975年京都府亀岡市生まれ。2005年大阪商業大学経済学部専任講師を経て、現職。近年深刻な問題となっている海や川のプラスチック汚染について、内陸部からのごみの発生抑制の観点から取り組むとともに、京都・保津川をフィールドに筏流しの復活や天然鮎の復活、内水面漁業の振興など川の文化の再生と伝承に取り組んでいる。主な著書に、『現代社会の財政学』(共著、晃洋書房)、『産地の変貌と人的ネットワーク—旭川家具産地の挑戦』(共著)、『京の筏: コモンズとしての保津川』(共著、ナカニシヤ出版)など。

会場開催

ウインクあいち (愛知県産業労働センター)
10F「1001会議室」

定員80名

※お申込み後の参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはライブ配信のみの開催となります。あらかじめご了承ください。



申込受付フォーム

ライブ配信

Zoom ウェビナー

定員100名

【主催】  公益社団法人 日本河川協会
【共催】 愛知・川の会
【後援】 国土交通省中部地方整備局
(予定) 環境省中部地方環境事務所
愛知県
22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会
全国川ごみネットワーク

申込締切：3月15日(火) 17時まで (先着順)

受付フォーム

おもて面のQRコードを読み取って、受付フォームからお申し込みください

メール

kataru@japanriver.or.jp 下記の必要事項を記載して送信してください

FAX

03-3288-2426 下記にご記入の上、そのまま送信してください

ふりがな 氏名	(日本河川協会の) 二種正会員 ・ 一般		
連絡先 E-mail または TEL	所属 (記入は任意)		
職種 いずれかに○	a. 建設コンサルタント b. 建設会社 c. その他民間企業 d. 行政 e. 財団/社団 f. NPO等川や水の活動 g. 学生 h. その他 ()		
参加方法	会場 ・ オンライン		

お願いとお知らせ

【会場参加の皆さまへ】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、37.5度以上の発熱や咳などの症状がある方は参加をご遠慮ください。
- ・会場では必ずマスクの着用をお願いいたします。
また、手洗い・手指消毒の徹底をお願いいたします。

【参加証明書について】

- ・当講演会は土木学会等のCPDプログラムの認定は受けていません。「参加証明書」をご希望の方には、会場ではお帰りの際に配付、オンライン参加の場合はアンケート回答後メールで送付いたします。

会場アクセス

ウインクあいち 名古屋市中村区名駅4-4-38

■JR名古屋駅桜通口から

ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

ユニモール地下街5番出口 徒歩2分



お問い合わせ先



公益社団法人 日本河川協会

東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.ビル3F

TEL: 03-3238-9771 FAX: 03-3288-2426

E-mail: kataru@japanriver.or.jp



河川
基金

当講演会は、公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています